

平成 22 年度 第 4 回市長タウンミーティング議事録

と き：平成 22 年 4 月 17 日(土)

午後 7 時～8 時 30 分

ところ：東公民館

参加者：71 人

○ 市長あいさつ

(市長より、平成 22 年度の施策・予算についての説明が行われました。)

○ 意見交換

質問(男性)

西口には、市役所や市立病院など、公共施設が整っていますが、東口には、公民館ぐら
いしかありません。今後はぜひ、塚越地区にも公共施設を増やしてほしいです。

また、災害に強いまちづくりを進めていただきたいと思います。災害が起きたとき、救
援物資の輸送や、消火活動、人命救助などを迅速に行うためには、道路が整っていること
がたいせつです。市域の狭い蕨市では、市内の道路の内、4メートル道路が約 46%を占め
ています。災害時、もしそこに、2メートルのブロック塀が倒れていたら、迅速な対応が
できません。そこで、ぜひ、ブロック塀をやめて、生け垣に切り替えるような施策をお願
いします。

回答(市長)

昨年は、市制施行 50 周年でしたが、蕨宿が塚越村と合併して、蕨町となってから 12
0 周年でもありました。蕨町の誕生以来、一体となってまちづくりを進めてきたわけですが、
物理的には、まちが線路で二分された状態になっています。その上で、ご指摘のよう
に、その特殊性やバランスを考えたまちづくりを進めていくことは、たいせつだと思いま
す。塚越地区は、市内一の広さで、市民の憩いの場として親しまれている市民公園がある
ということがたいへん大きな魅力の一つです。今後も、この市民公園を中心としたまちづ
くりを進めていくことが大事だと考えます。

また、公共施設に関しては、蕨全体を見渡すと、すでにたくさんの公共施設があり、そ
の維持管理や保全が大きな課題となっていることから、新たに公共施設を増やすことは難
しい状況です。ご質問の趣旨は理解しています。今後、耐震化など、今ある施設の有効活
用を進める上で、塚越地区の皆さんのご要望として受け止めさせていただきます。

続いて、災害に強いまちづくりについてですが、ご指摘のとおり、災害時の道路の確保

はたいへん重要です。市では、すでに、生け垣設置に対して補助をする制度がありますが、まだまだ利用率は低い状況です。今後もおおいにPRしていきたいと思います。

質問(男性)

国は現在、子ども手当の施策を進めていますが、たしか民主党のマニフェストで、年金加入期間を短縮するとうたっていた気がしますが、どうなったのでしょうか。

回答(市長)

国の施策としての子ども手当に関して、日本全体がこれまで子育てに対する支援が弱かったと感じており、経済的支援を強めていくという点では賛成です。ただ、心配なのは、事業を行う上での財源見通しが見えません。蕨市が今年度行う「こども医療費無料化の拡大」は、しっかりと財源見通しを立てた上で進めています。国の子ども手当については、国の制度は国できちんとして行ってもらい、市町村に財政負担がかからないようにと、私も会員である埼玉県市長会を通じて働きかけています。また、年金に関しても同様に、約束したのであればきちんと実行してほしいと思います。

質問(男性)

先日、テレビ番組で、交通事故はコンビニエンスストア付近で多く発生するとありました。少しでも交通事故を減らす上で、参考にさせていただければと思います。

回答(市長)

交通事故防止は、市が進める、安全安心きれいなまちづくりの大事なテーマとして、積極的に取り組んでいるところであります。市内での交通事故発生件数は、かなり減ってきていますが、そういったご意見があったことを担当課に伝え、引き続き研究していきたいと思っています。

質問(女性)

家の近くの公園は、草木が生えっ放しで、とても遊べるような状況ではありません。公園の管理をしっかりと行っていただきたいと思っています。

また、市民公園は、敷地内が周りよりも高くなっている上に、植え込みがあるため、外から中の様子が見えません。公園で遊ぶ子どもたちの安全を守る上でも、外から中の様子が見えるように、改善をお願いします。

回答(市長)

ご指摘の公園については、すぐに担当課に伝え、現地を調査します。

また、市民公園に限らず、公園内の見通しを確保することは、事件や事故を防ぐ上でも

非常にたいせつと考えており、これまでもそうした改善を図ってきています。ご指摘の場所についても、担当課に検討させたいと思います。

質問(男性)

共働きが増えているなか、学童保育の需要はこれからも増えると思います。そのなかで学童の子たちが、学校から留守家庭児童指導室への移動中に、交通事故や事件に巻き込まれないか心配です。学校内に留守家庭児童指導室は作れないのでしょうか。

また、先ほど、市民公園は塚越地区の大きな魅力の1つとありましたが、ぜひ、市民公園でさまざまなイベントを開催して、市の収入アップを図ってはいかがでしょうか。

回答(市長)

留守家庭児童指導室の充実については、量と質の両方が求められていると感じています。量に関しては、昨年度は、北町地区に1か所増やし、今年度は南町地区に2か所目の留守家庭児童指導室を、南公民館内に設置することになりました。こうした努力などにより、待機児童は生じていません。質に関して、子どもの安全確保など、今後は学校内に設置することも考えていかなければならないと思います。現状では、管理上の問題や施設の改修など、課題も多くありますが、引き続き検討していきたいと思います。

市民公園の活用については、1つのアイデアとして受け止めさせていただきます。

質問(男性)

今年度に行う施策について、いくつか質問があります。1つ目は、平和都市宣言塔の設置についてですが、具体的にはどこに設置をお考えですか。

2つ目は、先日マスコミなどでも大きく報じられた、蕨の4歳児虐待死についてです。2度とこのようなことが起きてはならないと思いますが、どのような対策をお考えですか。

3つ目は、市立病院についてですが、市長のお話で、現在、内科には消化器の専門医がいないとありましたが、ぜひ確保に努めていただきたいと思います。

4つ目は、リサイクルフラワーセンターについてです。「生ごみを減らして、花を増やす」すばらしい取り組みなので、おおいに進めていただきたいと思います。

5つ目は、学校の耐震化についてです。中国での大地震もあり、先日、報道で、鳩山内閣が、学校耐震化については予備費を使って早急に進めるとありました。蕨市でも現在、学校耐震化を進めているところですが、もし、国が予備費を使うとなったら、その恩恵を蕨市も受けられるのでしょうか。

回答(市長)

昭和60年9月9日に、市民の平和を願う心を結集して、「平和都市宣言」が採択されました。そして、今年はその宣言が採択されてから25周年を迎えます。

平和都市宣言塔の設置は、25周年という節目の年に、市民の皆さんにあらためてこの平和都市宣言を知ってもらおうとするもので、設置にあたっては、市民の皆さんから76万円の寄付をいただき、今年度の予算に組み込みました。設置場所については、市民の皆さんのいちばん目につく場所がいいとの考えから、駅前辺りを検討していて、現在、JR側と協議を行っているところです。できれば、宣言された9月9日にお披露目させたいと思っています。

2つ目のご質問の児童虐待についてですが、事件が起きたのは2年前です。市もこの家庭については、早い段階から問題があると認識していて、児童相談所と連携を図りながら、何度も家庭を訪問するなど対応してきましたが、残念な結果となってしまいました。今回の事件に関して、児童相談所は県の行政なので、まずは、県で検証委員会を立ち上げ、検証作業を進めているところです。検証のポイントとしては、児童相談所がこの児童を一時保護できるタイミングがなかったかが大きな要素になると思います。それを受けて市でも合わせて検証していきたいと考えておりますが、市では今年度新たに、乳児のいる全家庭を保健師が訪問する「こんにちは赤ちゃん」事業を始めます。これによって、育児不安のある家庭を早めに把握でき、児童虐待を防ぐ一助となるのではと考えます。

3つ目の市立病院の消化器の専門医についてですが、現在、消化器の医師は、非常勤はいますが、常勤がいません。非常勤医師は外来の対応はできますが、入院の受け入れが難しいので、引き続き医師の確保に努めていきたいと思っております。

4つ目のリサイクルフラワーセンターについては、ぜひ市民の皆さんにもご協力をいただきたいと思います。

最後に学校の耐震化についてですが、すでに国からの補助が付いているので、今回の件での更なる補助はありません。

質問(男性)

何度か議会の傍聴に行きましたが、各部長の答弁が聞こえづらいです。

また、ある町では、公立病院で美容整形科を開いたところ、収益が上がったそうです。ぜひ、参考にしてください。

回答(市長)

申し訳ございません。各部長に気をつけるように伝えます。

2つ目の質問に関しては、貴重なご意見として、担当課に勉強させたいと思っております。

質問(男性)

子育て支援もたいせつですが、高齢者の支援も重要です。そこで、引きこもりがちのお年寄りに対して、民生委員に協力してもらって週1回、訪問するような考えはありますか。

回答(市長)

おっしゃるとおり、子育て支援も高齢者の支援も重要です。市では、今年度、駅東口にエレベーターの設置や、在宅での日常生活に著しく支障があるかたを支援しようと、在宅要介護高齢者手当などの施策を実施しますが、ご質問の、引きこもりがちな高齢者のお宅を訪問することは、実状を把握する上でたいせつです。民生委員による声かけは、現在、行われているところですが、民生委員だけでなく、町会や蕨市社会福祉協議会などにも協力していただき、地域で見守るようなコミュニティづくりを進めていくことが大事ではないかと思います。

※ご質問いただきました内容に関して、担当課の確認など、その場でお答えできなかった内容を、加筆・修正して公開しています。